

1. 件名：福島第一原子力発電所における循環注水冷却・滞留水等に係る定例会
2. 日時：令和4年2月25日（金）13時30分～14時30分
3. 場所：原子力規制庁 18階会議室
4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部 東京電力福島第一原子力発電所事故対策室

知見主任安全審査官、高松専門職、高木係長、横山係長、高木技術参与
新井安全審査官、久川係員（テレビ会議システムによる出席）

福島第一原子力規制事務所

黒川原子力運転検査官（テレビ会議システムによる出席）

東京電力ホールディングス株式会社 福島第一廃炉推進カンパニー

福島第一原子力発電所 担当6名（テレビ会議システムによる出席）

5. 要旨

- 東京電力ホールディングス株式会社から、資料に基づき、主に以下の説明があった。
 - 3号機 MSIV 室内の調査について
 - ✓ 2021年4月～5月の3号機原子炉注水停止試験に合わせて、原子炉格納容器からの水の漏えい箇所を特定するために実施した MSIV 室内の調査において、主蒸気配管 A の伸縮継手下側の水面に漏えいによるものと考えられる揺れ・波を確認したが、漏えい箇所の特定に至らなかったことから、今回、特定のための調査を実施する。
 - ✓ 調査は、MSIV 室上部の空調機械室から、水面に波紋が確認された主蒸気配管 A の伸縮継手近傍にカメラを吊り下ろし実施する。なお、調査の事前作業として、MSIV 室天井部にカメラを吊り下ろすための穿孔作業を実施する。
 - ✓ 2022年3月第2週より資材搬入等の準備を始め、穿孔作業等を経て、3月第5週から4月第1週にかけて MSIV 室内の調査を実施する予定である。
 - 共用プールからキャスク仮保管設備への使用済燃料構内輸送作業について
 - ✓ 2022年度中頃より実施予定の6号機使用済燃料プールからの使用済燃料（1456体）の取り出しに向けて、共用プールに貯蔵されている使用済燃料を輸送貯蔵兼用キャスク22基（1基当たり燃料69体収納可能）に装填し、共用プール建屋からキャスク仮保管設備へ構内輸送し保管する予定である。
 - ✓ 2022年3月下旬より順次作業を開始し、輸送貯蔵兼用キャスク22基全ての作業の終了が、2024年3月となる予定。
 - 工程表（循環注水冷却、使用済燃料プール対策、燃料デブリ取り出し準備）及び使用済燃料プール水質状況について
- 原子力規制庁は、上記説明を受けた内容について確認するとともに、以下のコメント等を行った。
 - 使用済燃料プールの水質状況について、今後プールライナードレンに特異な変化が見られた場合は、状況を説明すること。

6. その他

資料：

- 3号機MS I V室内の調査について
- 福島第一原子力発電所共用プールからキャスク仮保管設備への使用済燃料構内輸送作業について
- 循環注水冷却スケジュール
- 使用済燃料プール対策スケジュール
- 燃料デブリ取り出し準備スケジュール
- 使用済燃料プール水質状況について

以上